

岡山労働局発表  
平成30年5月28日

担	岡山労働局労働基準部健康安全課 健康安全課長 北村 牧子 主任安全専門官 田村 明良 電話：086-225-2013
当	夜間：086-238-6216

## 岡山労働局第13次労働災害防止推進計画を策定しました

### 誰もが安心して健康に働くことができる社会の実現のため 死亡労働災害15%以上減少を（目標設定）

岡山労働局（局長 <sup>ちば</sup>千葉 <sup>としお</sup>登志雄）は、岡山県内における一層の労働災害防止と労働者の健康確保を図るため、「岡山労働局第13次労働災害防止推進計画」（計画期間 2018年度～2022年度の5年間）（以下「推進計画」という。）を策定しました。

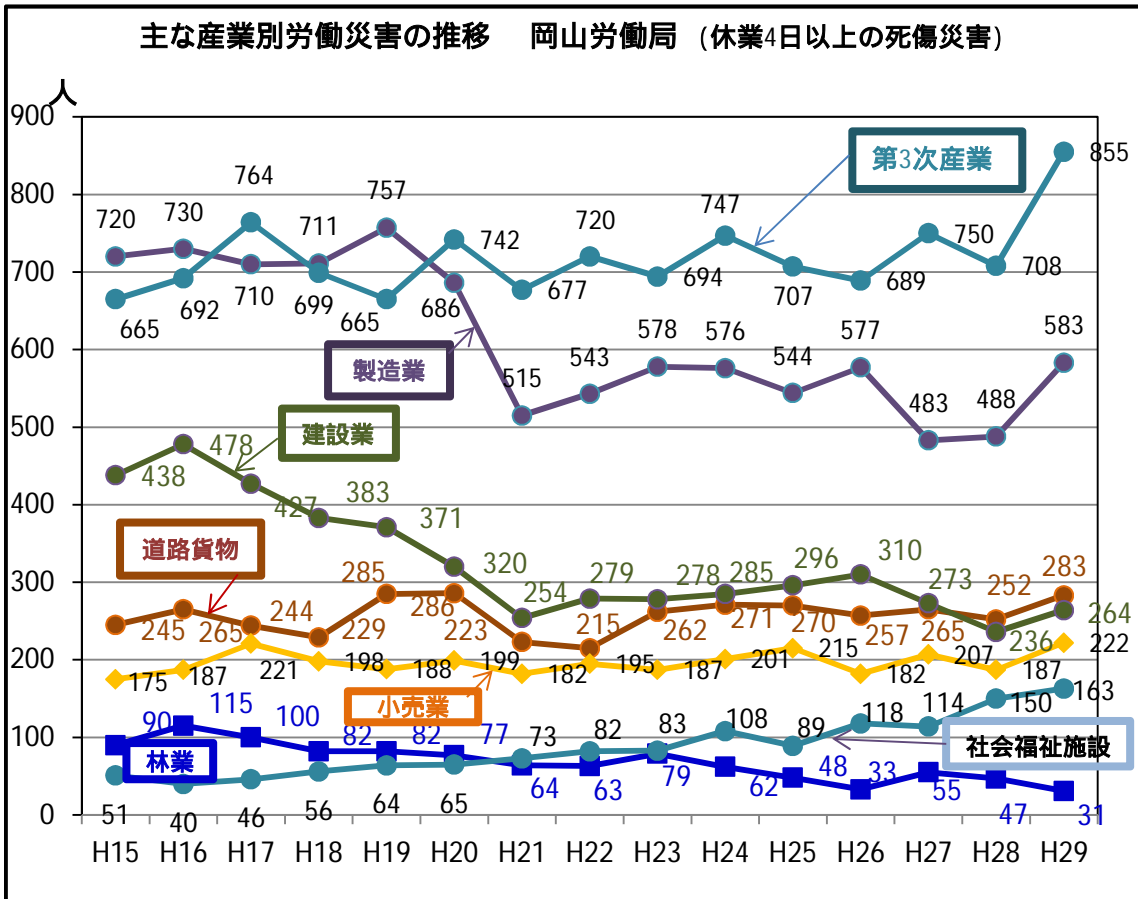
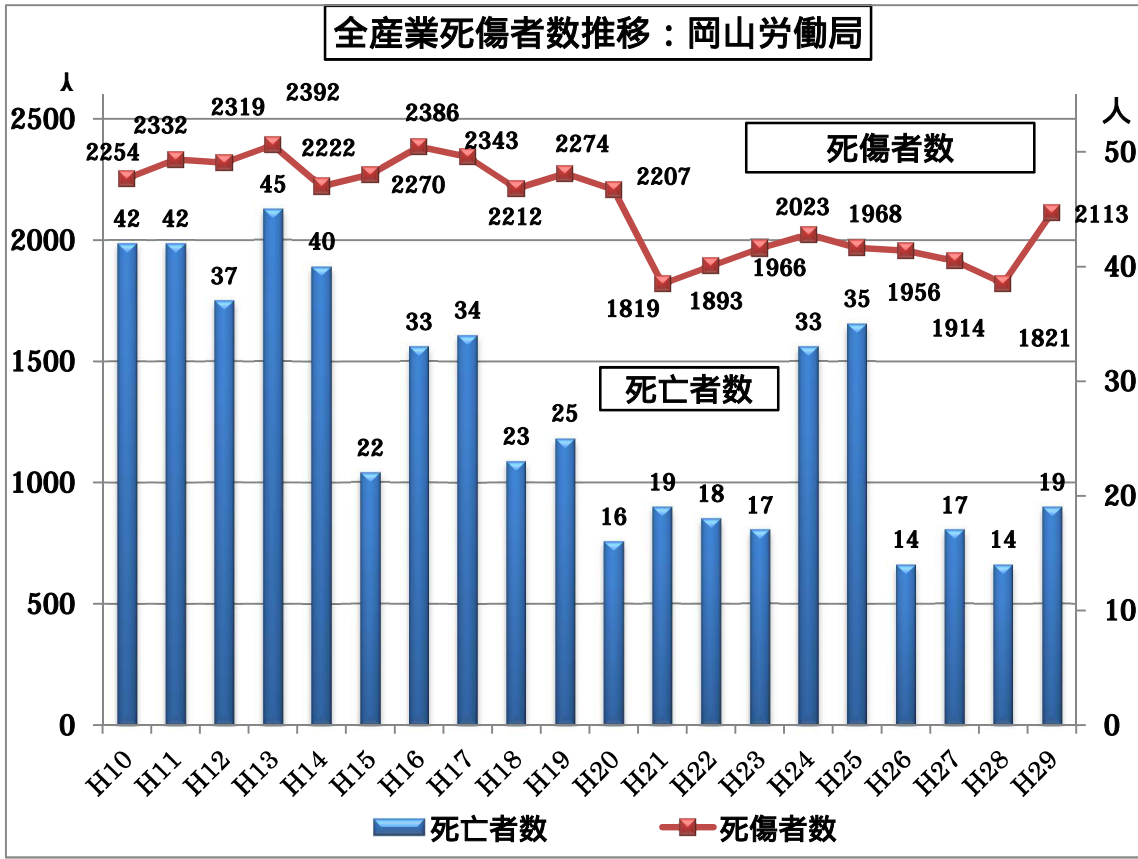
岡山県内では、第12次労働災害防止推進計画期間中（2013年度～2017年度の5年間）（以下「前期間」という。）99人もの命が労働災害により失われ、また、前期間の最終年である2017年の休業4日以上の労働災害による死傷者数（以下「死傷者数」という。）も2113人と急増しています。このような状況から、労働災害をさらに減らし、働き方改革実行計画を踏まえ、誰もが安心して健康に働くことができる社会を実現するため、推進計画を策定しました。

推進計画では、全業種共通の目標を以下の通り3つ掲げるとともに、重点的に取り組む業種を定めて各々の目標を設定し、取り組むこととしています。

#### 全業種共通の目標

1. 死亡災害の撲滅を目指し、前期間と比較し、計画期間の労働災害による死亡者の数を15%以上減少させ、2022年までに13人以下とする。
2. 前期間と比較し、計画期間の死傷者数を5%以上減少させ、2022年までに1800人以下とする。
3. 規模50人以上の事業場について、ストレスチェック結果を集団分析する事業場を90%以上とし、集団分析結果の活用を推進する。

重点的に取り組む業種ごとの目標や、取組み事項等、「岡山労働局第13次労働災害防止推進計画」の概要については、別添パンフレットをご参照ください。



## 全産業における災害発生状況

### 年齢別

	24年	29年	増減
～29歳	306	354	15.7%
30～39歳	370	336	-9.2%
40～49歳	425	446	4.9%
50～59歳	456	484	6.1%
60歳以上	466	493	5.8%
内 70歳以上	75	98	30.7%

### 経験年数別

	24年	29年	増減
1年以内	404	432	6.9%
1年以上 3年未満	338	424	25.4%
3年以上 5年未満	241	241	0.0%
5年以上 10年未満	401	340	-15.2%
10年以上	681	676	-0.7%

### 主な事故の型別

	24年	29年	増減
墜落・転落	348	362	4.0%
転倒	423	418	-1.2%
激突	89	81	-9.0%
飛来・落下	122	142	16.4%
崩壊・倒壊	35	45	28.6%
激突され	101	87	-13.9%
はさまれ等	270	309	14.4%
切れ・こすれ	169	145	-14.2%
高・低温物との接触	55	57	3.6%
交通事故	162	172	6.2%
腰痛等	203	240	18.2%
その他	46	55	19.6%
総計	2023	2113	4.4%

### 主な起因物別

	24年	29年	増減
1 動力機械	251	271	8.0%
木材加工	62	43	-30.6%
建設機械	30	38	26.7%
金属加工	39	63	61.5%
2 物上装置、運搬機械	456	485	6.4%
動力クレーン	36	43	19.4%
動力運搬機	250	278	11.2%
乗物	170	164	-3.5%
3 その他の装置	342	377	10.2%
人力機械工具	99	132	33.3%
用具	173	176	1.7%
その他の装置	46	53	15.2%
4 仮設物等	461	453	-1.7%
5 物質・材料	160	144	-10.0%
6 荷	133	118	-11.3%
7 環境等	97	114	17.5%
9 その他	123	151	22.8%
総計	2023	2113	4.4%